

平成29年度社会福祉法人大子町社会福祉協議会事業報告

長寿化・少子化による高齢社会の中で、多様化するニーズに対し、町民の理解と協力を得ながら、福祉・保健・医療関係機関・各種団体・施設・ボランティアとの連携を図り、子どもから高齢者・障がい者 “だれもが住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちづくり” を目指し、次の事業を実施した。

1. 理事会・評議員会の開催

- 理事会 4回
- 評議員会 2回
- 監査 1回

2. 社協基盤の強化

- 自主財源確保のため、全戸会員を目標に、賛助会費として一般・特別会費徴収に努めた。
(別記1)
- 共同募金配分金の財源確保のため赤い羽根・歳末たすけあい募金運動に努めた。
- 社会福祉協議会の基盤である事務局は、5名の専任職員体制において、複雑多様化する社会福祉の課題に対応するため、区長・民生委員児童委員・ボランティアを始め、保健・福祉関係者の協力を得ながら福祉の向上に努めた。

3. 地域福祉活動推進事業

- 全地区で、区長、民生委員児童委員を中心となり地域における特性を生かし、ひとり暮らし高齢者等の配食サービスや会食会・訪問活動を通して、地域住民との交流を深めるとともに在宅福祉の充実に努めた。 (別記2)
- 地域住民同士の支え合いの必要性をテーマに地域づくり講演会を開催し、地域福祉に対する意識の向上・推進に努めた。 (参加者数 196名)

4. 介護用品事業

- 介護用品宅配事業
高齢者等に対し、宅配の方法により、毎月の上限額を設けて無償で介護用品を支給した。
- 介護用品購入費助成事業
高齢者等を介護している者に対し、上限額を設けて介護用品の購入費用の全部若しくは一部を助成した。
 - ・総申請件数 907件
 - ・助成額 19,809,769円

(内訳)

事業名	申請件数	助成額
介護用品宅配事業	448件	5,788,832円
介護用品購入費助成事業	459件	14,020,937円

5. 在宅介護用品貸出し事業

- 車いす対応福祉車輌の無料貸し出しを行い、対象者・介護者が安全に安心して通院等ができるよう努めた。また、介護者の負担軽減に努めた。（延 利用件数 98件）
- 在宅介護用ベット、車いす、エア・マット等の貸し出しを行うことにより、身体機能維持・向上さらには、介護者の在宅での介護負担軽減に努めた。（別記3）

6. 生活支援体制整備事業

- 日常生活上の支援を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続していくために必要となる多種多様な生活支援体制の構築に向け、委員15名を委嘱し、大子町生活支援・介護予防体制整備推進協議会を6回開催した。また、同協議会で全町的な生活支援・介護予防サービスのコーディネート等に関する事業を実施しながら、サービスを提供する団体等と連携し生活支援体制の充実・強化に努めた。
- サービス・支援の担い手となるボランティア等の養成を目的に、地域生活支援員養成研修を3日間開催。15名が受講し終了した。

7. ボランティア活動促進

- 社会福祉についての理解と関心を高めるための啓発に努めるとともに、ボランティアの育成及び実践活動の推進を図った。
- ボランティア連絡協議会を開催し、町内のボランティア活動を行っている個人・グループ同士の情報交換等を行い、ボランティア活動を機能的に推進できるように努めた。
- ボランティアグループ・個人ボランティア等の活動に対する相談に応じ、研修会等を行い、ボランティア活動の資質の向上に努めた。
- 安心してボランティア活動が行えるようボランティア活動保険の加入促進と保険料の一部助成を行った。（登録ボランティア数 197名・ボランティア活動保険料助成件数 147件）
- “子どものときから福祉の目を” のスローガンのもと、町社会福祉協議会が児童・生徒のボランティア活動協力校に、全小・中学校を指定し、援助と情報提供を行い、福祉教育の推進に努めた。
- ボランティアが読む「声の広報だいご」のCDを作成し、月1回町内希望施設に配布した。

8. 就労継続支援事業所の運営

- 障害者総合支援法に基づき、在宅の知的・身体・精神障がい者のために、自宅から通って、日常生活に必要な社会性の訓練・軽作業を継続的に行うことにより、自立と社会生活への適応力を養うため、就労継続支援事業所（大子福祉作業所と若草共同作業所）の運営に努めた。（別記4）

9. 指定特定相談支援事業所の運営

- 障害者総合支援法に基づき、利用者が有する能力や適性に応じ、自立した日常生活・社会生活を営むことができるよう配慮して相談に応じた。
 - ・契約件数 38件

10. 障害者虐待防止対策支援事業

- 障害者虐待防止法に基づき、行政や各関係機関と連携をとりながら、障がい者に対する虐待の未然防止や早期発見、迅速な対応、その後の適切な支援に努めた。
- 虐待の通報窓口を設置し、虐待防止に努めた。
 - ・支援件数 1件

11. 在宅福祉サービスセンター事業

- 非営利的な有償による訪問サービスを行う住民参加型福祉供給組織「在宅福祉サービスセンター」を設置し、高齢者や障がい者の家事援助・話し相手等の様々な支援を行い、在宅での日常生活の充実を図るとともに、本人・家族の身体的・精神的負担の軽減を図る在宅福祉サービスの推進に努めた。 (別記5)

12. ふれあい・いきいきサロン事業

- 高齢者が、身近な地域でボランティアと一緒に生きがいと健康づくりの企画運営を行う仲間づくり活動を通して、高齢者の閉じこもり防止・介護予防、孤独感の解消等に努めた。 (別記6)

13. 家族介護者交流事業

- 高齢者や障がい者(児)の在宅介護者を対象に、日頃の介護疲れを癒す目的で“介護者の集い”を開催した。また、介護技術の向上・介護負担の軽減を目的に“在宅での排泄ケア講習会”を開催し、介護者のリフレッシュと情報交換、介護技術の習得の場の提供に努めた。 (35名参加)

14. 友愛訪問活動事業

- 各地域の単位老人クラブと連携し、住みなれた地域で同世代の仲間同士が、ひとり暮らし・ねたきり高齢者を訪問し、励まし、支えあいながら住みよい地域づくりの推進に努めた。 (訪問実人数 139名)

15. 高齢者筋力アップ事業（いきいきヘルス体操教室）

- シルバーリハビリ体操指導士が「いきいきヘルス体操」を毎週木曜日の午後に開催し、高齢者の筋力アップを図り、転倒予防や介護予防に努めた。

16. あんしんコール事業

- ボランティアの協力を得て、ひとり暮らし高齢者等と定期的に会話をすることにより、不安の解消に努め、プライバシーを守りながら実施した。
 - (開設日数 141日 • 利用者数 58名 • 延件数 2,718件)

17. 日常生活自立支援事業

- 認知症の高齢者や知的または精神的に障がいのある方など判断能力が不十分で、かつ親族などの援助が得られない方に対して、生活支援員が福祉サービスの利用手続きの援助や日常生活の金銭管理援助及び書類等の預かりサービスを行い、在宅での日常生活を支援した。
 - (生活支援員 6名 • 利用者数 17名 • 訪問回数 447回)

18. 権利擁護推進事業

- ひとり暮らし高齢者や障がい者等を対象に、緊急時に重要書類等を一時的に預かることで、安心して福祉サービス等を利用できるよう支援した。（利用者 7名）
- 判断能力が不充分な方を保護するため、成年後見制度の利用を希望している親族等からの相談に応じられる窓口を設置した。

19. 大子町高齢者大学運営

- 高齢者の生きがい対策として、年12回の学習会等を開催し、生涯学習・生きがい・健康づくりの推進に努めた。（別紙1）
- 「歴史講座」を公開講座とし、多くの方に学習する機会の場の提供に努めた。

20. 高齢者福祉の推進

- 75歳以上のひとり暮らしの方へ、緊急入院や災害時に必要な物を入れ、保管しておける「安心箱」を民生委員児童委員の協力を得て配布した。（配布件数 97名）
- 80歳以上のひとり暮らしの方へ、「地域で支え合うあたたかいお正月」となるよう、おせち品の配布を民生委員児童委員の協力を得て実施した。（配布件数 484名）
- 高齢者と地域住民とのふれあい事業や交通安全教室への支援を行うとともに、老人クラブの育成援助等高齢者福祉の充実に努めた。
- 老人クラブ連絡協議会と共に、クロッケー・ゲートボール・輪投げ・ペタンク・グラウンドゴルフ大会を実施し、高齢者の健康づくりや生きがい対策等に努めた。
- 大子町文化福祉会館「まいん」に設置している全自動血圧計を活用し、「まいん」利用者の健康管理に努めた。

21. 障がい者福祉の推進

- 障がい児の育児に対する体験者のアドバイスや交流・情報提供を行い、障がい児の子育て支援に努めた。
- 大子特別支援学校の行事（運動会・発表会等）にボランティアが協力し、地域交流活動推進に努めた。
- 身障者スポーツ大会及び山のつどい等への協力援助を行うとともに、障がい者 2団体の育成援助等身体障がい者（児）福祉の充実に努めた。

22. 母子・父子福祉の推進

- ひとり親家庭の小学校入学児童10名に対し、“入学祝のつどい”を実施しお祝を贈呈した。

23. 児童福祉の推進

- 「子育て十章」を更生保護女性の会と共に作成し、各保育所（園）・幼稚園・小学校・特別支援学校の保護者に配布し、子育て支援に努めた。（別紙2）
- 子育て支援センター事業（別記7）
 - ・安全に安心して子育て、子育て支援ができる環境整備に努めた。
 - ・毎週火・金曜日、ボランティア（月1回程度）の協力を得て、たんぽぽ広場を開設し、ミュージックケア、制作等の遊びを提供した。（開設時間10：00～11：00）
 - ・毎月各1回、読み聞かせ・英語であそぼ！・おしゃべりタイム・ママヨガを開催した。

- ・毎週月～土曜日、子育て支援室を一般開放し、親子が自由に遊べる場や保護者の交流の場の提供に努めた。（開放時間9:00～14:00）
- ・毎週月～土曜日、面談または電話で保育士による育児の相談支援活動を随時行い、子育てに関する悩みや心配ごとの解消ができるよう努めた。
- ・年2回、子育て支援センター登録者と町内保育所（園）・幼稚園・一般の方を対象に、親子ふれあいコンサートを開催した。
- 放課後児童クラブ事業
 - ・町内の小学校に通う1～4年生までの児童を対象に、放課後や土曜日、長期休業期間等の学校休業日に、家庭に代わる生活の場を確保し、児童の健全な育成が図れるよう努めると共に、保護者の仕事と子育ての両立支援を行った。
- 障がい児日中一時支援事業
 - ・大字特別支援学校の児童・生徒を対象に、放課後や長期休業期間に利用できる適切な遊び場の提供と保護者の介護負担軽減に努めた。
- ファミリー・サポート・センター事業
 - ・昨年に引き続き広報誌やホームページ等を活用した周知活動に努めつつ、他団体へ会員協力をお願いし会員募集に努めた。
 - ・毎月第2月曜日に、子育て支援センター利用者や登録会員を対象に定期説明会や勉強会（7月 救急法 18名）を開催し、事業の利用促進に努めた。

24. 心配ごと相談事業の推進

- 町民の生活上の悩みごと、心配ごとについて第1・3水曜日の午後に心配ごと相談所を開設し、問題解決への方向性を助言、指導するとともに相談員の研修を実施した。（別記8）
- 法テラスとの連携を強化し、相談支援体制の充実に努めた。
- 法テラスの協力により、無料弁護士相談会を開催した。

25. 共同募金運動の推進

- 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金は「じぶんの町を良くするしくみ」をスローガンに展開し、区長会、女性の会等多くの関係者の協力により大きな実績を収めた。（別記9）
- 歳末たすけあい募金配分金を財源とし、民生委員児童委員の協力を得て、80才以上のひとり暮らし高齢者におせち品の配布を行った。また、新規配分事業として、各事業所で実施する「温かいお正月事業」への助成を行った。（別記10）
- 災害義援金について、義援金の募集、並びに受付業務を行った。
 1. (福岡県)平成29年7月5日からの大雨災害義援金
 2. 大分県豪雨災害義援金
 3. 秋田県大雨災害義援金
 4. 台風18号大分県災害義援金
 5. 台風21号三重県災害義援金
 6. 和歌山県平成29年台風21号災害義援金
 7. 平成28年熊本地震義援金
 8. 平成28年新潟県糸魚川市における大規模火災義援金

26. 大子町善意銀行事業の推進

- 善意を持って寄せられる金品及び技能・労力の受託並びに払い出しを行った。 (別記11)
- 生活つなぎ資金の貸付を行い、生活安定と自立を支援した。 (別記11)
- 不用品バザーを行い、ボランティア活動助成等の推進に努めた。
- 幼稚園・各保育所（園）・子育て支援センターへ、遊具や玩具等の配分を行った。

27. 生活福祉資金貸付事業

- 民生委員児童委員の協力を得て、生活福祉資金貸付、償還の相談に応じた。 (別記12)

28. 啓発事業

- 地元新聞 2社の協力により事業等の周知・報告を行った。
- 社協の事業をわかりやすくまとめた「社協パンフレット」を活用し、社協事業の啓発に努めた。
- 公式ホームページを活用し、社協活動の周知を行った。
- 広報「福祉だいご」を年2回（1回7,000部）発行し、住民に親しまれるよう紙面の充実を図り、全戸配布することにより社会福祉協議会の活動内容の周知に努めた。

29. 大子町文化福祉会館「まいん」指定管理事業

- 町民がいつでも安全に気持ちよく利用できるよう施設の適正な管理に努めた。
 - 平成29年度大子町文化福祉会館「まいん」利用者（別記13）

30. 福祉団体との連携強化

- 大子町老人クラブ連絡協議会、大子町身体障害者福祉協議会、大子町母子福祉連合会、大子町遺族連合会、大子町更生保護女性の会、5団体の事務局として社協活動との連携を図りながら福祉団体の支援に努めた。

31. 総合相談支援

- 福祉に関するこをはじめ、日常生活に関することなど、福祉の専門職が様々な相談に応じ、共に解決に向かえるように支援を行った。

(別記1) ◎大子町社会福祉協議会賛助会費実績調

地区名	世帯数 ・口数	金額(円)	内訳		
			普通会費 700円	特別会費 1,500円	福祉施設 ・その他
			世帯数・口数	世帯数・口数	件数
大子地区(池田を含む)	1,455	1,068,700	1,391	62	2
依上地区	519	372,300	508	10	1
佐原地区	413	296,300	404	9	0
黒沢地区	528	385,900	507	20	1
宮川地区	654	472,200	636	18	0
生瀬地区	615	438,500	605	10	0
袋田地区	639	467,300	614	25	0
上小川地区	637	459,500	620	17	0
下小川地区	182	133,000	175	7	0
その他	38	64,300	0	0	38
合 計	5,680	4,158,000	5,460	178	42

(別記2) ◎地域福祉活動推進事業報告

地区	実施日	内 容	場 所
大 子	H29.11.18	ひとり暮らし高齢者配食	
依 上	H29.11.23	ひとり暮らし高齢者日用品配付	
佐 原	H29.12. 7	ひとり暮らし「友愛会」会食懇談会	
黒 沢	H29.11.15	ひとり暮らし高齢者配食	
宮 川	H29.11.28	ひとり暮らし高齢者日用品配付	
生 瀬	H29.11.24	ひとり暮らし高齢者日用品配付	
袋 田	H29.11.13	ひとり暮らし高齢者日用品配付	
上 小 川	H29.11.28	ひとり暮らし高齢者食品・日用品配付	
下 小 川	H29. 9.18	敬老祝品配付	

(別記3) ◎福祉車輛(車いす対応車)、在宅介護用ベット、車いす等貸出し状況

品 名	総 数	貸出中件数	年度内貸出件	付 記
福祉車輛(車いす対応)	1	0	98	
ギャッヂベット	53	47	3	
車 い す	42	32	61	
エア・マット	4	4	0	
計	100	83	162	

(別記4) ◎就労継続支援事業所報告

○ 大子福祉作業所 (定員20名)

- ・通所申込者数 18名
- ・開所日数 241日
- ・延利用者数 3,302名
- ・1日平均 13.7名

○ 若草共同作業所 (定員20名)

- ・通所申込者数 19名
- ・開所日数 244日
- ・延利用者数 3,869名
- ・1日平均 15.9名

(別記5) ◎大子町在宅福祉サービスセンター事業報告

利用会員数	197名	(高齢者・障がい者・その他)
協力会員数	31名	
活動延回数	277回	
活動延時間数	412.0時間	
		・食事の支度 22.0 時間
		・住居等の掃除、整理整頓 (窓拭き・草取り等) 326.5 時間
		・生活必需品等の買物 28.5 時間
		・衣類洗濯 12.0 時間
		・話し相手(精神障がい者) 11.0 時間
		・読み聞かせ(重度身体障がい者) 12.0 時間
		・その他(介護の指導) 0.0 時間

(別記6) ◎ふれあい いきいきサロン事業報告

○実施個所数 21ヶ所 (中央型9ヶ所・小地域型12ヶ所)
 (サロン数)

○参加者

- ・申込者数 784名
- ・参加延人数 8,439名

○事業内容

名称	場所	実施日	年間実施回数	申込者数	参加延人数
ダンスくらぶ	町文化福祉会館	毎週火曜日	44回	25名	675名
絵手紙くらぶ	町文化福祉会館	毎週火曜日	43回	13名	169名
書道くらぶ	町文化福祉会館	毎月 第2金曜日	12回	10名	77名
うたごえくらぶ	町文化福祉会館	毎月 第2・4木曜日	24回	12名	159名
手芸くらぶ	町文化福祉会館	毎月 第3金曜日	12回	28名	251名
囲碁くらぶ	町文化福祉会館	毎週 月曜日・金曜日	92回	27名	380名
童謡くらぶ	町文化福祉会館	毎月 第3水曜日	11回	7名	30名
将棋くらぶ	町文化福祉会館	毎週 木曜日・日曜日	86回	30名	683名
いきいきヘルス体操	町文化福祉会館	毎週木曜日	50回	122名	1,138名
左貫本郷地区 いきいきサロン	左貫本郷田園都市 センター	毎月 第3水曜日	130回	36名	1,264名
町付地区 いきいきサロン	黒沢 コミュニティセンター	毎月 第3火曜日	25回	53名	318名
中郷地区 いきいきサロン	中郷集会所	毎月 第3木曜日	18回	34名	177名
上郷 いきいきサロン	上郷集会所	毎月 第2木曜日	18回	40名	178名
佐原ふれあい いきいきサロン	佐原 コミュニティセンター	毎月 第2・4火曜日	22回	35名	403名
下野宮東区 いきいきサロン	下野宮東区集会所	月1回	28回	66名	409名
いきいきサロン なませ	生瀬コミュニティセンター 小生瀬下区集会所	第2月曜日 第3水曜日	22回	31名	247名
思いやり・ふれあい いきいきサロン	石川の家	月1回	5回	45名	93名
いきいきサロン 前冥賀	前冥賀集会所	月1回	25回	38名	376名
清流若葉サロン	袋田交流センター	月4回	61回	31名	834名
元気アップ下小川	下小川 コミュニティセンター	月1回	18回	64名	279名
近町ふれあい いきいきサロン	近町公民館	毎月 第3水曜日	24回	37名	299名

(別記7) ◎子育て支援事業

相談人数	36人
相談件数	45件

事業名		登録人数	総開催日数	平日		土曜日		長期休業中		利用延人数
子育て支援センター事業	たんぽぽ	親62・子74		開催日数	延人数	開催日数	延人数	開催日数	延人数	
一般開放	新規(88)79		272	124	2,371					2,371
				240	1,450	32	146			1,596
日中一時支援事業		0		0	0	0	0	0	0	0
放課後児童クラブ事業	60(内長期のみ29)	272	199		4,478	32	64	41	1,437	5,979

事業名	登録人数	利用人数	利用日数	利用時間数
ファミリー・サポート・センター事業	利用者14 協力者44	12	12	30

(別記8) ◎心配ごと相談事業実績調

1. 開設状況

開設月数	開設日数	取扱件数	出場相談員延人数	付記
12	21	20	40	

2. 相談種別件数

相談事項	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	合計
	生年	職業	住家	結婚	離婚	健康	医療	精神衛生	人権法	財産	事故	児童福祉	母子青少年	教育福祉	心身障害者	母父高齢者	父子福祉	高齢者福祉	苦情	その他	
	計金	業宅	族	婚	婚	衛	生	療	生	産	故	祉	祉	祉	祉	祉	祉	祉	祉	祉	
処理状況	3	1	0	1	3	1	0	0	0	2	1	3	1	0	0	0	0	1	3	0	20
	解決	1			1					1										3	
	再来																			0	
	民生委員				1													1		2	
	他機関	1	1		2	1			2		3	1						1		12	
	その他	1																2		3	

(別記9) ◎平成29年度赤い羽根共同募金実績

(単位=円)

地区名	実績額	付記
大子	871,500	
依上	310,200	
佐原	246,600	
黒沢	324,100	
宮川	391,200	
生瀬	368,400	
袋田	378,600	
上小川	383,800	
下小川	108,600	
大口募金	720,000	町内69か所企業
一円玉募金	57,758	各小中学校・清流高校
職域募金	76,075	各小中学校・振興公社・役場・社協職員
その他	85,147	募金箱等
合計	4,321,980	

(別記10) ◎平成29年度歳末たすけあい募金実績額・配分額

平成29年度歳末たすけあい募金実績額 ・・・・・・・・・・・・ 1,697,348 円

・地区別募金実績額(単位=円)

地区名	金額
大子	435,000
依上	155,100
佐原	123,300
黒沢	162,000
宮川	195,600
生瀬	184,200
袋田	190,800
上小川	192,400
下小川	54,300
その他	4,648
合計	1,697,348

・配分実績額

(単位=円)

	内 容	金額
1	温かいお正月事業（障害福祉サービス事業所6か所・高齢者福祉施設5か所）	553,564
2	一人暮らし高齢者へおせち品配付(80歳以上) 484名	1,108,480
3	余剰金(次年度へ繰越金)	35,304
配 分 合 計		1,697,348

(別記11) ◎大子町善意銀行業務状況調

1. 預託状況

(単位=円)

物品件数	金銭件数	金額	備考
30	48	2,911,673	預 託 金 2,901,673
			指 定 預 託 金 10,000
			計 2,911,673

2. 払出状況 (28年度預託分で、払い出し)

(単位=円)

物品件数	金額	備考
23	2,588,396	安心箱配布事業 153,459 (バスタオル・クリアケース購入)
		子育て支援(遊具・玩具の配分) 343,408 (幼稚園・各保育所(園)・子育て支援センター)
		福祉車輌貸出し事業 281,421 (98件)
		生活つなぎ資金貸付金 955,000 (43件)
		ボランティア活動支援 2,000 (1件)
		火災見舞金 70,000 (2件)
		災害見舞金 40,000 (2件)
		ベビーキープ取付金(会館トイレ) 718,200 (7ヵ所)
		ベッド消毒代 10,908
		その他 14,000
		計 2,588,396

3. 生活つなぎ資金貸付状況

前年度末貸付残高	1,567,655 円
本年度貸付額	955,000 円
本年度返済額	756,500 円
本年度末貸付残高	1,369,155 円

(別記12) ◎生活福祉資金貸付状況調

貸付件数	13 件
貸付額合計	7,654,000 円
3月末未償還金残高	11,229,155 円 (滞納額を含む)

◎福祉基金保管状況

常陽銀行大子支店 42,096,031 円

(別記13) ◎平成29年度 大子町文化福祉会館「まいん」利用状況

区分	文化ホール	観光交流ホール	小会議室	高齢者活動室	相談室	学習室	子育て支援室	展示コーナー	合計
件数	104	707	445	413	162	—	588	0	2,419
人数	20,279	40,353	6,051	3,670	407	5,153	10,097	11,484	97,494

平成29年度 大子町高齢者大学事業報告書

1. 開催回数 毎月1回 計12回
2. 延べ人数 706名
3. 事業内容

月 日	学 習 内 容 ・ 講 師	場 所	参加人数
4月19日	平成29年度（第50回）入学式	町文化福祉会館	42名
5月23日	大子町の高齢者対策について 大子町の財政状況について	福祉課 財政課	37名
6月12日	第2回定例町議会一般質問傍聴	町議会議場	37名
7月28日	大子町の歴史	飯村 尋道 氏	77名
8月24日	子育て支援ふれあい学習	だいご 放課後児童クラブ	83名
9月21日	町外施設等の見学	大子町外	36名
10月31日	町内施設等の見学	大子町内	37名
11月29日	高齢者の交通安全、悪徳商法 防犯等について KYT(危険予測トレーニング)	大子警察署	40名
12月19日	介護予防について シルバーリハビリ体操	地域包括支援センター 大子町シルバーリハビリ体操指導士会	38名
H30 1月31日	地域づくり講演会	特定非営利活動法人 つどい場さくらちゃん理事長 丸尾 多重子 氏	196名
2月15日	火災予防等について	大子町消防本部・消防団・ レッドエンジェルス	43名
3月19日	平成29年度（第50回）卒業式	町文化福祉会館	40名
計			706名

子育て十章

大子町更生保護女性の会
大子町社会福祉協議会

一 まず家庭円満が第一

子どもの中が安定します。
安定はバランスのよい成長をもたらします。

二 たっぷりの愛と話しかけ

素直で理解力のある子にもなります。
かわいがることは、甘やかすことにはかないません。

三 自分で考え自分でさせる

自立心がある積極的な子にも育ちます。

四 がまんの訓練

おもちゃの与え廻しや、子供の言ひなりにならないことをかけて
がまんをせめましょう。意志の強い子にも育ちます。

五 役割を与える

小さな体験の積み重ねから、責任感、連帯感、人の思いやり等が育ちます。

六 口出しを減らす

無理な要求や口の出し廻しは、子供の豊かな成長の芽をつむぎります。

七 よくきこう

親の押し付けからは、いつも友説は生まれません。

八 違いを認める

兄弟やおそれの子供を比べたり、他の子供ばかり遊ぶ面倒があるのを認めることが大切です。

九 親はかがみ

親のやるいだに子供は育ちます。

十 よその子にも我が子の愛を

非行、交通事故、誘拐などから社会の宝を守りましょう。

